



富士森

東京都立富士森高等学校同窓会報

東京都立富士森高等学校
同窓会報 (No.10)

発行日 平成17年4月1日
編集 富士森高等学校同窓会
住所 〒193-0894
八王子市長町420番地2
都立富士森高等学校内
TEL 0426-61-0444
<http://www.fujimori-ob.com/>



時とともに...

校舎風景

左/平成になって
下/昭和50年代



「重点支援校」の指定を受けて
母校富士森高校は変わります。

富士森高等学校校長

佐藤 公作

本校は、今までの取り組みが評価され、平成十七年度から平成十九年度まで「重点支援校」として指定されました。「重点支援校の指定」は、東京都教育委員会の施策のひとつで、「自律的

平成17年度総会のご案内

日時 5月29日(日)
午後1時～ 吹奏楽部演奏
午後1時30分～ 校内案内
午後2時30分～ 総会・懇談
会場 母校多目的ホール
会費 無料

クラスメイトやクラブの先輩・後輩をお誘い合わせのうえ、ご参加ください。アジアドのパンを食べながら、楽しく歓談しませんか。

な改革を進めている学校や改善への取り組みに成果をあげている学校を指定することで、学校の個性化・特色化を一層促進しつつ、他の都立高校へも自律的改革の波及効果を生み出し、都民に信頼される魅力ある都立高校づくりを進める。」という趣旨で行われているものです。

「重点支援校」に指定されたことで、本校はこれから以下のような支援を受けることとなります。

①「人」の支援：公募制による人材の配置等
②「物」の支援：施設設備の優先的処置等
③「金」の支援：予

算の重点配布④「指導」の支援：各種研究校への指定や教育活動への具体的な指導助言

昭和十六年八王子市立高等女学校を前身としている本校は、保護者や地域からは伝統と実績がある穏やかで落ち着いた学校としての評価があり、高校改革が進む中、地域に根ざした学校として存続しています。生徒や保護者からは「希望する進路の実現」と「健全な人間関係の確立」、「楽しさと成就感のある高校生活」への期待が多く寄せられています。そこで、富士森高校生一人一人が本来もっている潜在的な能力や将来の可能性（Potential-Ability）を伸ばし、人間



▲ 校長室にて

性を高め、多様な進路実現に際する教育計画をFA達成プランとして策定しました。この「FA達成プラン」

は、生徒が学習等に対して実力をつけ、自らの可能性を見出し、自信を持ち、進路希望の実現を目指すプランです。これに基づく重点的な教育活動が重点支援校の内容で、概要は以下のとおりです。

□ 学習指導の充実と学力の向上

生徒に自分の学習上の課題を発見させるとともに学習への展望と意欲をもたせ、希望する進路を実現する。そのため、実力がつく授業への改善。さらには、日常的な補習や長期休業中の進路指導等により受験に対応できる学力を身につける。

□ 希望する進路の実現

進路指導部・学年の連携を中心に三年間を見通した系統的な進路指導を行う。そのため、分野別進路ガイダンスや大学等による模擬授業を充実したり、大学との連携を進める。

□ 部活動・学校行事など特別活動の活発化

部活動への加入を促し、活動の参加率を高めるなどして、部活動を活発にする。また、生徒会や各種委員会等の自治的活動に積極的に参加させ、学校生活を高める態度を育成する。体育祭や歩行会、文化祭などの

行事においても生徒に工夫させ、富士森高校生としての自覚と誇りを高める。

役員紹介

名譽会長 佐藤公作校長

会長 長谷川隆司（四十一年卒）

副会長 水越幸雄（四十三年卒）

幹事 菱山寛治（四十四年卒）

小石京子（三十八年卒）

福田文夫（三十三卒）・須藤浩（五

十年卒）・秋山達夫（四十一年卒）

東浦由理夫（五十八年卒）・根本

猛（日八年卒）・長島光男（日八

年卒）・山田賢一（日八年卒）

會計 馬場幸枝（四十四年卒）

近かおる（五十四年卒）

監査 松坂章二（四十五年卒）

錦織政晴（四十六年卒）

□ 地域との連携による開かれた学校づくり

生徒とPTAによる「花いっぱい活動」や「三者懇談会」、地域の高齢者との世代間交流等を継続発展させるなどして、生徒・保護者・地域と学校との連携を強める。

これらを実現するために、卒業生の皆様のご理解とご支援・ご協力をよりしく願います。すなわち、伝統ある同窓会を通して、実社会で活躍の皆様のご指導者としての人材情報ネットワークづくり、地域や同窓会等がボランティアとして学校をサポートする学校支援ボランティアの設置などを図り、同窓会や地域と一体となった学校づくりを推進する計画をしています。是非とも、社会でご活躍の皆様のお力をお願いいたします。

クラス会・同窓会開きませんか

古き良き友との再会、せつない思い出、新たためのの出会い…。こんな思いを込めて、クラス会や同窓会を開いてみませんか。事務局までご連絡下さい。通信費相当としてクラス会で5,000円、同窓会で10,000円を補助します。

平成16年度 同窓会 この一年

◆会報発行（4月1日）

「富士森（第9号）」を1万3千部発行。会員に送付。転居先不明で約300通が返戻。

◆入学式（4月7日）

正副会長が来賓として出席。

◆同窓会総会（5月30日）

母校多目的ホールで開催。開催に先立ち、副校長の案内でコンピュータ・ルームやL.L教室、体育館等の学校施設を見学。次いで、吹奏楽部によるミニ演奏会を堪能。その伴奏で参加者全員で校歌を合唱。総会には43名が参加。また、PTAから会長、広報委員の2名の方が来賓として出席。事業報告や会計報告など議事進行後、議案を全員で承認。その後、アジアドのパンと同窓生経営の「稲毛屋」製和菓子をつまみながら、「同窓会の活動」について、懇談。活発な意見交換を行った。総会終了後、会場を近所の和風レストランに移し、懇親会を開催。岡本博先生にも

参加いただき、思い出話に花を咲かせた。

◆文化祭（9月19・20日）

セーラー服や詰め襟の学生服、標準服などの制服を展示したほか、各年度の卒業アルバムや学校行事などの懐かしい写真パネル、同窓生からの近況報告ハガキを展示。また、恒例となった小石幹事による「七宝教室」を開催、キーホルダーや携帯ストラップなどを制作。さらにコーヒーやお茶などの簡単な接待による「ほっとコーナー」を開設し、来場者との歓談の場を提供。

◆PTA役員との意見交換会

学校支援及び組織間の相互理解と協力体制を深めることを目的に数回にわたる意見交換会を開催。母校の持続的発展に向け、お互いに協力しあいながら母校の活動を支援することで意見の一致をみた。

◆クラス会、同期会開催の支援

クラス会の開催に当たり、名簿の提供、通信費の補助などの支援を実施。

◆ホームページの更新・管理

同窓会活動の日常的なPR活動の一環として開催しているホームページ内容の常時更新。

◆卒業式（3月5日）

正副会長が来賓として出席。賞状を授与。

◆賞状を授与

卒業式前日に行われる予行演習時に3年間、無遅刻・無欠勤の生徒16名に賞状として電子辞書を贈呈。

◆吹奏楽部定期演奏会（3月21日）

を支援

いちょうホールで開催された定期演奏会の会場費の一部支援及びプログラムへの広告掲載。

◆幹事会の開催

同窓会の円滑な活動を行うため、母校小会議室で毎月第3土曜日の午後1時から5時まで定期的に幹事会を開催。文化祭や総会時には臨時会を開催。

◆名簿の整備・管理

平成16年度新規加入者（240

平成17年度予算(案)

【収入の部】

繰越金	3,469,447
会費	1,600,000
合計①	5,069,447

【支出の部】

運営費	70,000
通信費	50,000
交通費	130,000
総会費	50,000
会報発行費	1,800,000
文化祭費	80,000
ホームページ維持費	70,000
予備費	100,000
合計②	2,350,000
次年度繰越金 ①-②	2,719,447

平成17年度事業計画(案)

- 4月：会報発行
：入学式出席
5月：同窓会総会の開催
9月：文化祭参加
3月：卒業式出席
その他、各種行事に参加するとともに会費徴収方法の検討、各部OB会結成への支援

名の更新。住所変更通知、町村合併による住所変更内容の更新。

東京都立富士森高等学校同窓会会計報告（平成15年度）

【収入の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
前年度繰越金額	21,874,244	21,874,244	
同窓会費	1,680,000	2,459,160	246名×10,000円 [税込手数料840円]
総会費	0	0	
雑収入金	3,000	16,939	名簿販売、 預金利息等
合計①	23,557,244	24,350,343	

【支払の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
運営費	130,000	88,003	貸金庫使用料、 事務用品等
通信費	50,000	43,810	郵便切手、15年度電話、 ファックス代
交通費	160,000	113,340	幹事会参加役員交通 費実費
備品費	0	0	
総会費	50,000	44,122	懇親会費用等
卒業生 記念品代	0	0	
会報発行費	1,610,000	1,607,655	発行費用 (校正印刷郵送料費)
文化祭費	150,000	110,305	七宝焼き講習、 材料代他
クラブ他 支援費	0	0	
卒業生名簿 更新費	50,000	0	
ホームページ 開設維持費	60,000	67,305	ホームページサー ビス利用料
予備費	100,000	10,000	中田様香典
運送費	0	0	
特別会計 (新設)	17,000,000	17,000,000	周年事業基金在校生 同窓会支援金
合計②	19,360,000	19,084,540	
次年度繰越金額 ①－②＝	4,197,244	5,265,803	

【特別会計】

1. 周年事業基金 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
周年事業基金	10,000,000	10,000,000	新設
合計	10,000,000	10,000,000	

定期預金残高(No.134588)と一致

2. 在校生支援金

【収入の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
一般会計より	3,500,000	3,500,000	新設
預金利息	0	13	利息
合計①	3,500,000	3,500,013	

【支払の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
卒業生 記念品代	200,000	213,270	電子辞書・卒業証書 ファイル等
クラブ他 支援費	100,000	62,000	吹奏楽部プログラム 広告代
英語教材支援	0	1,043,700	ネットアカデミープ ログラム補助
合計②	300,000	1,318,970	
次年度繰越金額 ①－②＝	3,200,000	2,181,043	

普通預金残高(No.938241)と一致

3. 同窓生支援金

【収入の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
一般会計より	3,500,000	3,500,000	新設
預金利息	0	13	利息
合計①	3,500,000	3,500,013	

【支払の部】 (単位：円)

区分	予算	決算	説明
クラス・ 同期会補助	50,000	0	
合計②	50,000	0	
次年度繰越金額 ①－②＝	3,450,000	3,500,013	

普通預金残高(No.938254)と一致

以上のとおり報告します。

平成16年5月15日

東京都立富士森高等学校同窓会
会長 長谷川 隆 司
会計 馬場 幸 枝

平成15年度決算につき、関係諸帳簿等をそれぞれ精査・
監査の結果、適正であったことを認め、報告します。

平成16年5月15日

東京都立富士森高等学校同窓会
会計監査 松板 章 二
会計監査 館 織 政 晴

近況報告

平成16年度総会の開催に際し、旧教職員や同窓生から多くのお便りをいただきました。会場には、近況報告として掲出しました。前号のこのコーナーへの反響も少なくありませんでしたので、今号でも懐かしい方々の近況をお届けいたします。

最近、個人情報保護が強く叫ばれています。同窓会事務局への近況報告ですが、中には公開されたくない方もいらっしゃると思います。会報への掲載を希望されない方は、一言お書き添えください。

教職員の方々から

○小林清純（第十代校長 国分寺市）

ご案内を感謝します。富士森高校を追って、満二十年になります。在校生の進路関係で希望が達せられないよう祈念しております。同窓会の発展を祈ります。

○下田幸次郎（第十二代校長 川崎市）

老齢となりました。出席できませんが、同窓会の繁栄をお祈りいたします。皆さまによろしく。

○小峰英夫（第十三代校長 清瀬市）

在任中の創立五十周年記念行事では、同窓会の皆さまには大変お世話になりました。盛大な記念式典が行われ、参加させていただき、同窓生の方々と親しく接することができ、嬉しく思っております。これからも富士森高校を側面から支え、歴史の一ページ

を飾ってください。所用のため、今回は欠席させていただきます。

○橋本忠良（旧教頭 立川市）

ご連絡有難うございました。都を退職してから北里大学に勤め、六年が過ぎました。富士森高校在職中は、同窓会の絶大なバックアップをいただき、感謝感謝の五年間でした。ご盛會を祈っております。

○大角幸子（社会科 国分寺市）

同窓会報を有難うございます。八七歳になりましたが、元気で日本画を習っています。六月に国立市内の画廊でささやかな展覧会をする予定です。昭和十九・二十年ころ学徒動員で軍需工場で働いた卒業生の方たちに会いたいものと思っています。

○長里繁仁（数学科 市内北野台）

ご案内有難うございました。小生八十四歳。足腰に多少の衰えはありますが、相変わらず、若荷谷の筑波大学分館に毎日通勤し研究団体（六十団体・三十五万人）のお世話をし

ています。教育改革のあり、多忙に迫られています。諸兄のご活躍と母校の発展を見守っております。

○間瀬隆年（数学科 立川市）

能・狂言・歌舞伎・文楽、それに新劇などに二十回は舞台を覗いています。二月に国立劇場で偶然に教え子と出会い、楽屋を案内しました。大阪、京都へは毎月出かけております。

○山本一枝（国語科 市内元本郷町）

昨年、始めてお邪魔しました。見せていただいた施設の立派さ、充実振りに驚きました。同窓会の暮々（りようりよう）たる状態を打開しようとして必死に努力してられる役員のご様子を感じました。ぜひ、今後ともお願いいたします。

○神谷淳子（国語科 市内北野町）

すっかりご無沙汰いたしました。お聞きです。この三月、都立南多摩高校を最後に引退し、自分の時間を自由に使える喜びを味わっております。富士森高校には一九七九年から十二年間勤務し、忘れられない思い出がいっぱいあります。皆さまとお会いして当時のことを語り合いたいのですが、都合が悪く出席できず残念です。

○両角倉一（国語科 甲斐市）

会報ご恵送いただき有難うございました。昭和三十五年四月から三十八年八月まで国語科の教諭として勤務させていただきました。今号の写真が懐かしく、山本先生の最近の写

真も嬉しく拝見しました。総会のご盛會を祈ります。

○小田原 栄（国語科 あきる野市）

早いもので、前回の返事申し上げてから、もう一年経つのですね。会報に、私の在職と全く重なった三瓶校長のお便りがあり、大変懐かしく存じました。定年退職して、時間に余裕ができたはずなのに、残念ながら今年も予定が入っており、参加できません。同窓生の皆さん、校長先生をはじめ現職員の皆さまによるしくお伝えください。

○村田 昭（数学科 市内元横山町）

一九八九年に三鷹高校を定年退職し、悠悠自適の生活を送っています。

○石井 清（数学科 市内大和田町）

教育界多事多難のありから、母校の発展をお祈りします。

○三宅博士（英語科 市内長房町）

元気に年金生活をエンジョイしております。貴校のますますの発展を祈ります。

○岩松 清（社会科 市内早見町）

盛岡大学を経て、地元の日本文化大学を退職してから九三年になりました。現在、ダンテの「神曲」を五年がかりで自分なりのペースで読み訳しています。

○豊川 絃（社会科 所沢市）

卒業生の顔・顔・顔は、いつも思い浮かびますが、どうも職を辞してからは「八王子」がすっかり遠くなつてしまいました。それでも高尾の桜

は毎年欠かさず観に行っています。

○田村悦治(社会科 東村山市)

昭和三十八年より四十九年まで十一年間社会科教師として在職しました。平成四年に定年退職し七十二歳の現在、元気で人生を楽しんでいます。

○北川浩平(理科 小金井市)

富士森には七年間在籍。国分寺、武蔵・石神井と転任して定年。現在、七十五歳、シルバースターで市営駐車場管理の統括をやっています。在任中、バスケットボール部の顧問をし、富士森の運動クラブの合宿を開拓しました。幸い、部員からは絶大な信頼を受けましたが、当時の部

員ともう一度会いたいですね。

○山本 進(理科 あきる野市)

同窓会のお便りをお送りいただき有難うございます。昭和二十一年のころが思い出されます。あのころの教職員の方々はどうなったのでしょうか。私も七十八歳になり、何とか元気でおります。

○大高賢恵子(家庭科 市内子安町)

毎年、会報「富士森」をお送りいただき、懐かしく楽しく読ませていただき、有難うございます。昭和二十年八王子市立高等女学校に勤務し、教職を定年まで務め、続いて保護司を拝命し、一昨年定年で退職。現在は、更生保護施設に席を置いております。

○河内美恵子(家庭科 小金井市)

総会のお知らせと会報を有難うございました。大変懐かしく拝見させていただきました。当日は、予定が入っておりまして、残念ですが出席できません。足腰を少々痛んでおりますが、元気にしております。

○佐藤秀彦(音楽科 国分寺市)

一九七九年四月より十二年間、富士森でお世話になりました。今年三月福生高校で定年退職を迎え、のんびりと毎日を送っています。

○原 健爾(美術科 東久留米市)

来春の個展を目指して油絵の制作をしております。勤めもあと四年となりました。数年に一名くらい富士森高校卒の学生に会い、懐かしく思

います。淑徳短期大学社会福祉学科(造形教育)教授。

○緒張三雄(保健体育科 立川市)

昭和四十七年から四十二年までの五年間、体育の教師でお世話になりました。それ以来、教員生活三十二年目を迎えています。現在、練馬区にある光ヶ丘高校に勤めています。今は、生徒を未来を担う大切な子ども達と思い、大切に頑張っています。

○小野寺鈴子(養護 市内緑町)

連休中にドロボーに入られ、がっくりしていたのですが、会報を読ませていただき、少し元気になりました。どうも有難うございます。

○浅輪豊治(事務 市内大塚)

十で七十二歳となりますが、元気に過ごしております。総会のご盛會をお祈り申し上げます。

昭和二十年年代の同窓生から

○大谷(小林)和子(昭和二十年卒、豊橋市)

一昨年、文化祭に母校を訪ね、大変感激しました。母校の発展をお祈りします。

○中村(中村)潤子(昭和二十年卒)

戦争中から終戦直後までの学校生活で、大変な思いも致しましたが、でも一生懸命生きてきて良かったと思います。クラス会に出席すると、七十歳過ぎて昔の学生時代に戻って話が弾みます。

○北島(北島)郷子(昭和二十年卒)

私は、第一回の卒業生です。同窓会は年一回行っております。高齢になるとお亡くなりになる方も多く、年月の流れを感じます。平成十四年総会のおり文化祭を見学させていただきました。お世話になりました。私たちが学んだ学校と変わった様子に皆で驚きました。

○川崎(伊藤)和子(昭和二十年卒、安中市)

平素、大変お世話様です。第一期卒業生として感無量のものがあります。卒業前は、ほとんど授業はできず、戦争も敗戦色が濃くなり、生徒として頑張った青春時代、様々な時代を経て来た今、母校の発展を心より祈ります。

○寿美田(岩井)わか子(昭和二十一年卒、世田谷区)

主人と二人、二世帯で息子夫婦三人と賑やかに生活しています。七宝教室と出張教室で四十年経ちます。社団法人日本七宝作家協会の常務理事として、頑張っております。年二回は海外での展覧会に出品し参加しています。

○宇津木恵美子(昭和二十三年卒、相模湖町)

戦後の中央級の汽車通学、混雑の車内へ窓から降り降りした事が懐かしい思い出です。あれから六十年近い歳月が流れました。夫婦二人での生活。健康に恵まれ、老齢の身で二



▲現在の長房町に移転した当時(昭和30年代)の校舎

人ともダンスを楽しんでいます。

○西澤（鍋村）百合子（昭和二十三年卒・市内中野山王）

会報を楽しく拝読いたしました。貴校のご存続を本當に嬉しい限りです。

○奥住（大堀）晴子（昭和二十三年卒・市内下恩方町）

先日、ある集まりで六三三制が始まったころの話題になりました。教室の隣にアメリカ兵が詰めていた時の話（第九小の仮教室で）や、午前午後に分かれての二部制の授業など、遠い思い出です。

○高岸和子（昭和二十三年卒・板橋区）

「富士森」をお送りいただき有難うございました。じっくり読ませていただき、心温まる思いです。毎回の同期会・三峯会では、松本先生を囲んで皆元気で楽しく語り合っています。七十三歳になっても、〇〇ちゃんと呼び合える仲良しの一日クラスメイト。いつまでも元気でいたいと思っております。過日、五十五年ぶりで母校近くを訪れ、あの空襲の時の怖さや焼け跡の街を思い出しました。立派になった校舎と明るい会話を交わす後輩の姿を頼もしく目にして参りました。

○吉澤（吉澤）妙子（昭和二十三年卒・横浜市）

今年で結婚五十周年になるはずだったのですが、昨年主人が他界しまし

たので残念でなりません。学校のまますのこ発展おめでとうございませう。

○北原（長谷川）圭子（昭和二十四年卒・市内散田町）

歳をとりましたが、いまだに学校時代のお友達と食事をしたり、旅行に行ったり楽しく過ごしております。

○武田（武田）栄子（昭和二十五年卒・武蔵野市）

足腰を思い、杖を突くようになり、ボケ防止と思い、六十八歳から三年半、演歌を習い、今ではセミプロとして新宿コマの地下や吉祥寺公会堂など、チャリティー等々で唄っています。今は杖は無し。

○藤宮（八木）静江（昭和二十六年卒・所沢市）

お便り有難うございます。富士学園（幼稚園）副理事長・副園長として働いております。

○小笠原（内田）禮子（昭和二十六年卒・市内子安町）

人生駆け足してる間に七十一歳になりました。見かけはババでも気持ちには富士森の頃と同じようなもの。夫婦揃って歩けるうちに、浜名湖花博へ出かけます。年一度の旅行です。行く先々感動がいっぱいある事と思えます。皆々様もお元気で。

○荒畑（巖）淳子（昭和二十六年卒・相模原市）

茶道や洋裁をしながら、比較的元気に過ごしております。

○串田（里見）友子（昭和二十六年卒・市内追分町）

私もいつの間にか七十一歳を過ぎしまいました。でも元気で小学校の年一回の鑑賞教室（ラテン・マリオン・オペラ等）を手がけております。スポーツとしては、高尾スターレーンでシニアレディースのリーグ戦に月一回、月四回出ています。

○中井（添野）富子（昭和二十六年卒・つくば市）

抗がん剤を服用していますが、日常生活に支障なく何とか元気に過ごさせていただいています。

○清水（森）照子（昭和二十六年卒）

ご連絡有難うございます。二年おきくらいにクラス会を開催しております。高校への移行の時機で、中学・高校と六年間勉強した友達で、参加者は、前回二十六名でした。

○村内（鳳）（昭和二十六年卒・市内加住町）

今月で七十二歳になります。半健康とでもいったところです。皆々様の幸をお祈りいたします。

○勝田（江森）美枝子（昭和二十七年卒・宇都宮市）

演劇活動を通して青少年の育成に従事してまいりましたが、一身上の都合により今年三月まで、第一線を退きました。これからは「語り」[朗読]や依頼指導をしていく予定です。東京方面にも出向いております。

○山口（横倉）好子（昭和二十七年卒・市内台町）

主人が亡くなってから、次男坊が入り、一歳九ヶ月の孫と賑やかに暮らしています。自分の趣味もボツボツ。コーラス、音楽や絵などの鑑賞、高校時代の仲間と旅行や食事会、散歩などを楽しんでます。テレビを見てボケツとしている暇はありません。あれもこれもと欲張っています。そのお陰で元気で。

○太田（秋山）佐和子（昭和二十七年卒・羽村市）

現在、七十歳になりましたが、いまだにスイミングセンターに勤務しております。その合間に主人との外国旅行を楽しみにしております。それまで、福祉関係職員として三十年間無事に終了することができました。

○石井（石井）芳子（昭和二十七年卒・相模原市）

学校内の様子、卒業生のご活躍など楽しく拝読しました。先日クラス会で一泊旅行を楽しんできました。十六名参加し、皆さまお元気で。

○磯崎（石川）洋子（昭和二十七年卒・藤沢市）

今も合唱を続けております。校歌のレリーフをいつか観に行きたいと思えます。最初に唄ったのは、私たちでした。

○永嶋（松林）和子（昭和二十七年卒・市内元本郷町）

親しかったクラスメイト六人で毎

月逢って、旅行したり楽しんでいま
す。

●中野(橋田) 利江(昭和二十七年
卒・瑞穂町)

卒業してから五十二年経ちました。
富士森のバラック建ての校舎が懐か
しく思い出されます。その後、四十
年間幼児教育の職場での生活でした。
その間、子ども達にいろいろなこと
を教えられ、育てられてきました。
今では、これが私の財産として心に
刻まれています。現在は、二人の子
どもも独立し、主人との二人だけの
家庭です。少しばかりの畑に野菜を
作ったり、時には旅行したり的生活
です。これからも一日一日の時間を
大切に生きていきたいと思っていま
す。

●榎本(木藤) 千恵子(昭和二十八
年卒・市内長房町)

学校の近くに住んでいます。会報
で同級生の名前を見て、とても懐か
しく思いました。

●佐藤次朗(昭和二十八年卒・市内
諏訪町)

平成七年、八王子市役所を退職以
来、旅行、運動と毎日を悠悠自適に
過ごしております。

●有賀(森) 圭子(昭和二十八年卒・
小平市)

健康と老化防止に役立つであろう
とフオークダンス(世界の民族舞踊)
を十一年前から習っています。若い
人たちと一緒に跳んだり跳ねたりし

て楽しい汗を流しています。時には
きつい日もありますが、続けていか
れる幸せを感じて頑張っています。

●鈴木(鈴木) 綾子(昭和二十九年卒)
あと二年で七十歳。セーラー服の
乙女も格好として花咲いています。
元気で毎日過ごせる事に感謝して、
好きなことをしながら時々遠い昔の
ころを思い出します。

●富井(篠崎) 君子(昭和二十九年
卒・相模原市)

子ども達は、それぞれ所帯を持ち、
夫と夫の母親(九十一歳)と三人暮
らしをしております。高齢者が高齡
者を介護する時代。その中であって、
定年後の人生を夫と協力しながら生
活しております。

●坂本文利(昭和二十九年卒・市内
下郷方町)

自営で今でも仕事をしています。

昭和三十年代の同窓生から

●島田(根本) 良計(昭和三十年卒・
福生市)

昭島市松原町でつみき保育所とい
う託児所を経営しております。時間
の許す限り、カメラを片手に花の写
真を撮りに行っております。

●前坂(中島) 清子(昭和三十一年
卒・東久留米市)

健康をいたいただき、週に三、四日、
仕事に出かけ、また近くに住む孫と
遊び、毎日を大切に、感謝しながら

過ごしております。

●池田(佐々木) 珠子(昭和三十一年
卒・横浜市)

同窓会役員の方々のいろいろとこ
苦労なこととお察しします。私は、
卒業以来、未だ校舎を見ておりませ
ん。ぜひ、機会を見つけて立派になつた
学校へ行きたいと思っております。

●尾川(橋本) 武子(昭和三十一年
卒)

あまり勉強した覚えはないのですが、
四十八年前の遠い日の卒業式は思い
出します。今は専業主婦です。やは
り自信となつていっているように思えます。

●上田(志村) 美代子(昭和三十一年
卒・横浜市)

卒業以来、同期のお友達五人くら
いで、お食事をしたりカラオケに行っ
たりして年に二、三回会っています。
また、趣味で千切り絵をやっていま
す。

●大木 茂(昭和三十一年卒・市内
川口町)

八王子市少年野球連盟川口ジュニ
アーズの監督歴二十九年。本年引退
す。

●城定(城定) 千世子(昭和三十一年
卒・町田市)

定年退職後、早や五年が過ぎ、様々
な事がありました。相変わらず英語
の勉強に取り組んでいます。英語
力の正確な物差し、TOEIC公開
テストは、毎年受験し、ささやかな
夢実現を願っています。教会の礼拝

香おめでとうございます

日組



A組



では、月に一度ピアノを弾いて、感謝の日々を過ごしています。

●岡部三郎（昭和三十二年卒・横浜
市）

川崎市役所を卒業して早や五年、現在は、東亜建設工業の顧問として第二の人生を送っています。未だに自由の身になれず、そろそろ同窓会を思う今日この頃です。

●森田年彦（昭和三十一年卒・埼玉
県白岡町）

毎日、テニスコートで過ごしています。

●豊島（小阪）洋子（昭和三十一年
卒・市内元八王子町）

現在、ヘルスサポーターとして健康運動しています。八月は海外研修でアメリカ、カナダへ、高齢化時代、健康でいつまでも自己成長していきたいと思っています。

●吉野和男（昭和三十一年卒・青梅
市）

定年後、シルバー人材センターにて植木の剪定をしています。

●柳内（大崎）静江（昭和三十三年
卒・新宿区）

現在、日本書写能力検定委員会にて活動しております。

●品川（峰島）美智子（昭和三十三年
卒・日野市）

会報をお送りいただき有難うございます。役員の皆さまのご苦勞感謝申し上げます。

●牧野（杉田）淑枝（昭和三十三年

卒・柏市）

六十歳も半ばとなりましたが、元気に高校の友と交流して楽しんでいます。だんだんと学校も遠くなり、孫の時代となります。

●福間 暎（昭和三十四年卒・羽村
市）

音楽は岩田、体育は石川先生でした。高卒時は府中市住まいでしたが、結婚後は羽村市に住んでおります。A組クラス会は、毎年開かれており、今年も大石幹事のもと、八王子うかい鳥山にて行われます。

●志柿辰生（昭和三十四年卒・市内
長房町）

二年ほど前より母校の近くに移民して住んでおりますが、未だに貧乏暇無しで、今回も総会を欠席させていただきました。今後とも事務局の皆さまにはお世話をお掛けすることとなりますが、体に気をつけて頑張ってください。

●秋山（武田）圭子（昭和三十四年
卒・山形市）

四方を山に囲まれた自然豊かな美しい街に住み、早や六十四歳。夫の転勤で山形市に住み、永住の予定。息子二人に主人と姉の五人家族、皆健康です。日常、愛の心で生きることを、幸せになれる秘訣と思うこの頃です。

●望月（山本）満里子（昭和三十四
年卒・静岡興森町）

十年前にこちらに転居しました。



担任の先生方

- 勝村善二
- 神保 彌
- 小林和彦
- 井上進太郎
- 岸 彰子
- 岡角倉一
- 安部香子
- 岡田栄吉

周囲は田園風景の続く静かな田舎町です。情報は、どこへ行っても変わりはないのですが、やはり日常の刺激が少ないです。時おり、子ども達のものさしを幸いに上京する時今です。

●青柳（原田）淑枝（昭和三十四年
卒・大田区）

いつもお世話いただき有難うございます。暇だけは十分にある老夫婦の共通の楽しみは旅、インド、スベイン、ベルギーなど環遊巡りを年に二、三度しております。

●園分（松田）正子（昭和三十四年
卒・日高市）

元気に仕事に畑に頑張っています。まだ現役の主婦をしています。

●谷野（高橋）克子（昭和三十四年
卒・市内北野台）

昨年三月で八王子市の嘱託職員の仕事を退職し、現在は実母（九十二歳）の介護に当たっています。私が長く保育士として仕事が続けられた

昭和37年3月卒業の皆さん 還暦



C組



D組

のも母の支えがあったから。今こそ
ご恩返しを・・・と思い、老体の自
分にムチを打ちつつ、楽しく生活し
ています。

○谷合(橋本)美智子(昭和三十四
年卒・狹山市)

ご連絡有難うございます。子ども
二人は独立し、夫婦二人の生活になっ
て、お互い自分に合った趣味などで
毎日、気分転換を図りながら楽しん
でいます。

○石井(宮野)絹子(昭和三十五年
卒・市内大横町)

お世話様です。六十歳で定年。現
在、嘱託員として市内の中学校に選
三〜四日勤めています。高一の途中
で富士森から現在の長房町に移り、
水道が未整備で水筒持参でした。富
士森の名が懐かしいですね。

○小沢正明(昭和三十五年卒・昭島
市)

同級生で合唱団を作り、月二回練
習しております。

○渡井(黒澤)清子(昭和三十五年
卒・つくば市)

内孫ではありませんが、孫が小学
一年を頭に男二人、女一人の三人に
なりました。夫婦二人暮らしです。

○角(後藤)紀代子(昭和三十五年
卒・市内めじろ台)

造型粘土の講師をしています。八
王子・日野市の老人・障害者施設で、
もう三十年くらい教えています。毎
年秋には、八王子市の文化祭に出品
し、美術工芸連盟という会のリーダー
をしています。また油絵で石川県金
沢市の県立美術館で入選し、展示す
るなど、多忙の日々です。

○山口久雄(昭和三十五年卒・城山
町)

二年程前に会社を定年退職しまし



文化祭風景
今と違って、展示も優雅。
アカデミックな様子でした。

て、現在は、役場の非常勤職員とし
て週二〜三回事務の補助仕事をし
ています。同級生の仲間とは何人か
集まり、飲みニケーションを図っ
ております。付き合っている仲間は、
皆健康のようです。

○三輪(田中)貞子(昭和三十五年
卒・志木市)

主人と二人、義父の後を継いで損
保の代理店をしております。総会は
先約があつて参加できません。いつ
も、この次はと思つたのですが・・・

○坂下(森住)寿子(昭和三十五年
卒・函館市在住)

函館もゴールデンウィークには桜
が咲き、花見客で賑わつたようです。
数年振りに五稜郭公園に桜を鑑に行っ
てきました。北海道は、これからの
良い季節です。新緑も間近かまし
う。皆さまのご活躍をお祈りいたし
ます。

○前田(野村)昌代(昭和三十六年
卒・町田市)

健康に楽しく過ごせてはじめて良
い人生と言える・・・をモットー
に仕事、趣味、プライベートを前向
きに過ごしています。年齢とともに
今まで気付かなかった些細なことに
幸せを感じられる自分に満足のこと
ごろ。選半分を仕事に、一日の半分
を趣味に、苦しい事、不快な事から
ひたすら逃げる毎日です。

○加藤一守(昭和三十六年卒・横浜
市)

LPGの充填所で仕事をしていま
す。最近、自由化の波に乗って、
客足が安定せず、販売員は苦勞して
います。懐かしい顔に逢いたいの
ですが、仕事の都合がつきそうにない
ので欠席しますが、次回はきつと。

○森本(江原)三枝子(昭和三十六
年卒・市内横川町)

長房町の隣町、横川町で不動産と
建設業を営んでいる主人の手伝いを
しています。今年、結婚三十九周
年ですが、五十周年を元気に迎えら
れるよう、仕事にレジャーに頑張っ
ています。

○佐藤(橋本)秀弘(昭和三十六年
卒・朝霞市在住)

還暦は過ぎましたが、幼稚園長と
して園児と日々過ごしており、老け
ることが遅く有難いことでもあります。

○松沢 允(昭和三十六年卒・東村
市在住)

二〇〇三年六月に丸紅(株)を退



▲学生服とセーラー服で授業

